

不二電機工業 (コード 6654)

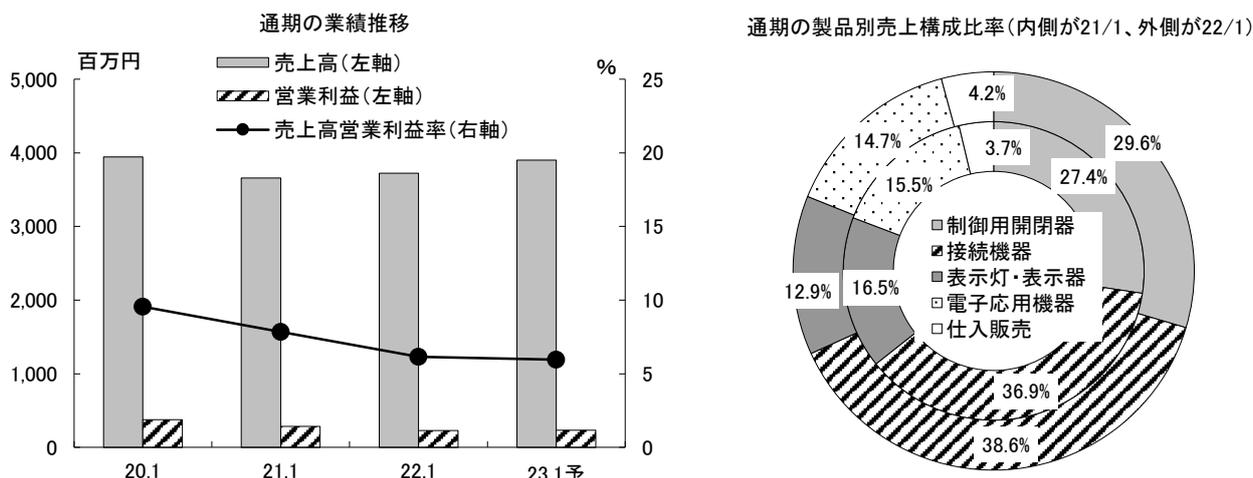
◆通期業績推移(非連結) (23.1 予は会社側発表値)

決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
20.1	3,944	377	47.4	32.0	366	▲211	▲189	746
21.1	3,659	287	35.2	32.0	658	265	▲461	1,208
22.1	3,721	229	33.3	予32.0	375	▲251	▲182	1,152
23.1予	3,900	232	30.8	32.0	-	-	-	-

◆各決算期の第2四半期業績推移(非連結) (23.1 予は会社側発表値)

決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
20.1	1,903	138	20.2	16.0	174	▲105	▲94	754
21.1	1,852	183	22.5	16.0	385	236	▲94	1,273
22.1	1,833	84	14.2	16.0	319	▲290	▲91	1,144
23.1予	1,930	105	14.3	16.0	-	-	-	-

(CF=キャッシュ・フロー。現金及び現金同等物は各期末値。▲はマイナス。単位は百万円、円)



22年1月期の業績概況…22年1月期の業績は、売上高37億2,100万円(21年1月期比1.7%増)、営業利益2億2,900万円(同20.2%減)、経常利益2億7,400万円(同10.6%減)、当期純利益1億9,100万円(同6.9%減)となった。売上高においては、鉄道車両用各種スイッチが低調に推移したものの、主力の汎用端子台や試験用端子が増加したことなどにより、売上高は増加した。一方、利益面では、売上高は増加したものの、製造原価において外注加工費(同14.0%増)、減価償却費(同8.7%増)などの製造経費(同13.6%増)が増加したことなどから、営業利益、経常利益、当期純利益とも減益になった。1株当たりの年間配当金は32円の予定となっている。

製品分類別売上高では、制御用開閉器が9億7,400万円(同10.0%減)、接続機器が15億1,600万円(同7.3%増)、表示灯・表示器が4億7,700万円(同1.0%増)、電子応用機器が5億5,100万円(同2.6%増)、仕入販売が1億8,400万円(同27.9%増)などとなり、製品売上高は35億3,700万円(同0.6%増)と微増にとどまった一方、商品売上高(=仕入販売)が大きく伸長した。なお、受注高は41億5,700万円(同9.8%増)、受注残高は12億3,600万円(21年1月期末比54.4%増)に拡大した。

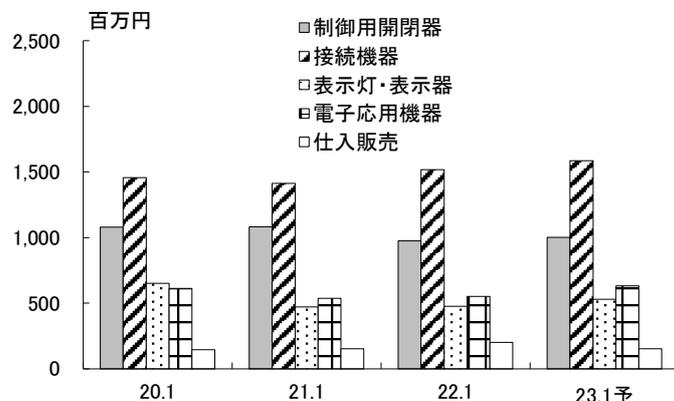
売上高において、制御用開閉器では、鉄道車両用各種スイッチが低調に推移したほか、主力の

カムスイッチも減少した。接続機器では、主力の汎用端子台が好調に推移したことに加え、試験用端子やコネクタ端子台が増加した。表示灯・表示器においては、鉄道車両用表示灯が減少したものの、LED式表示灯や集合表示灯が増加した。電子応用機器については、テレホンリレーやI/Oターミナルが増加した。仕入販売については、太陽光発電向け設備の販売により、大きく増加した。

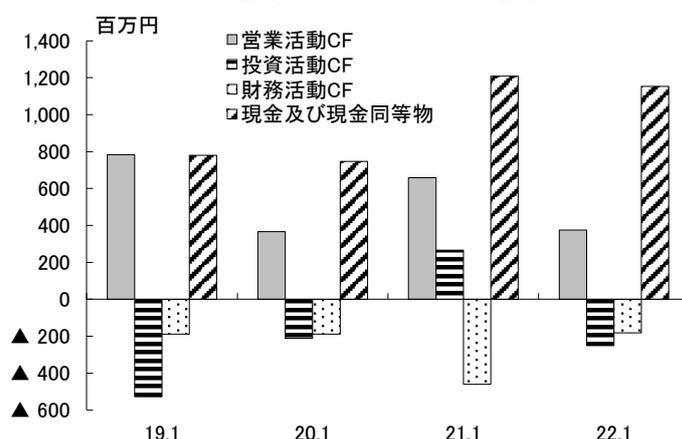
キャッシュ・フロー（以下、CF）の状況については、22年1月期末現在の現金及び現金同等物残高は11億5,200万円（21年1月期末比4.6%減）となった。営業活動によるCFでは、税引前当期純利益が2億7,400万円（21年1月期比10.5%減）、減価償却費が3億200万円（同5.6%増）、売上債権の増加額が9,700万円（21年1月期は減少額1億4,600万円）、たな卸資産の増加額が6,800万円（同減少額600万円）、仕入債務の増加額が4,100万円（同減少額600万円）、法人税等の支払額が8,700万円（21年1月期比29.8%減）となったことなどにより、営業活動による収入は3億7,500万円（同43.0%減）に減少した。投資活動によるCFでは、定期預金の預入及び払戻による差引収支額が1億円の支出（21年1月期は2億円の収入）、有形固定資産の取得による支出が1億5,400万円（21年1月期比14.9%増）となったほか、21年1月期に2億円あった有価証券の売却及び償還による収入が当期には無かったことなどにより、投資活動による支出が2億5,100万円（21年1月期は2億6,500万円の収入）になった。財務活動によるCFでは、配当金の支払額が1億8,200万円（21年1月期比3.7%減）となったほか、21年1月期に2億7,100万円あった自己株式の取得による支出が当期には無かったことなどから、財務活動による支出は1億8,200万円（同60.5%減）に減少した。

23年1月期の業績見通し…23年1月期については、売上高39億円（前期比4.8%増）、営業利益2億3,200万円（同1.5%増）、経常利益2億5,400万円（同7.2%減）、当期純利益1億7,600万円（同7.5%減）の見通し。製品別の売上高予想は、制御用開閉器が10億200万円（同2.8%増）、接続機器が15億8,500万円（同4.5%増）、表示灯・表示器が5億3,000万円（同10.9%増）、電子応用機器が6億3,100万円（同14.3%増）、仕入販売等が1億5,200万円（同24.4%減）となっている。1株当たりの年間配当金は32円の予定。

通期の製品別売上高推移



通期のキャッシュ・フロー(CF)推移



本レポートは、会社側が発表した決算短信や決算説明資料などに基づき作成しており、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなされますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。